



フォトアーティスト 寅貝真知子さんが 大阪狭山市 特命大使に 就任しました

令和7年11月19日、市特命大使委嘱式を行いました。委嘱期間は、令和9年9月30日までです。寅貝さんは、写真を素材として再構成し、色や質感で描くように表現する技法“ローレフォト”を考案。実際に撮影した写真だけを素材にしながら、異なる時間や場所を重ね合わせることで、現実には存在しないファンタジックな世界を描き出すフォトアーティストです。これまで国際的なフォトコンテストで数々の賞を受賞してきました。

これまででも「市制施行30周年記念誌」や「ふるさと納税返礼品」に作品を提供いたただくななど、市のPRに協力いただきました。9月16日に大阪・関西万博で開催した「南河内LIVE ART EXPO」において、狭山池を舞台にしたローレフォトVR作品「天空の曼荼羅絵図～眠れる水の都・大阪狭山市」を提供いただき、市の知名度の向上および地域振興に貢献いただきました。

寅貝さんにお話を聞きました

▶▶ Interview



『**フォトアーティストとしての魅力**』写真を撮ることは「今」を味わうことです。肉眼で見る景色は一つですが、カメラを通すと同じ風景でも何十通りもの表情を捉えられます。写真を通して日常の景色がまるでファンタジーのように感じます。また、ローレフォトの魅力は、「今ここにあるもの」を様々な角度から味わえる点です。日常で出会う瞬間をカメラで切り取り、別々の時間や場所を組み合わせて、現実の制約を超えた架空の世界をつくることが本当に楽しいです。

『**子どもたちや夢を追いかける人たちへのメッセージ**』子どものころ、日常の中でたくさんのワクワクを感じていました。そのころの「楽しさ」が今でも自分の中にあり、仕事にもつながっていると感じます。悲しいことやうまくいかないこともありますが、今の自分をつくっている大切な経験で、受け止めていくことが大切です。



市特命大使の皆さんには引き続き市のPRに協力いただきます

「天空の曼荼羅絵図～眠れる水の都・大阪狭山市」の一部作品を狭山池(さやりんBase付近)で展示します



9月16日に大阪・関西万博へ出展した「南河内LIVE ART EXPO」の様子をYouTubeで公開しています。



YouTube

室谷由紀さん(女流棋士)、半井彩弥(Bgirl AYANE)さん(ダンサー)、半井重幸(Bboy Shigekix)さん(ダンサー)、西浦秀樹さん(シンガーソングライター)、西山朋佳さん(女流棋士)、儀間太久実さん(口笛奏者)、伊原六花さん(俳優)、さやま未来プランナー、さやりん(大阪狭山市マスコットキャラクター)

▶▶ To be continued